

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	四万十市 39210
地域名 (地域内農業集落名)	後川地区 (板ノ川、佐田、口鴨川、奥鴨川、若藤、利岡、岩田、敷地、田野川甲、田野川乙)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	364.4 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	229.3 ha
② 田の面積	191.3 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	38 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	21.3 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	30.77 ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	76.1 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	47 ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における70才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

(板ノ川)

農地の大部分は基盤整備済であり、耕作条件は良好となっている。一部かん水する農地もあるが、中山間地域等直接支払交付金や多面的機能支払交付金も活用し、全体的に水田・水路管理も適切に行われている。地元農家で10年程度は適切な農地利用と維持が可能となっている。

(佐田)

基盤整備未整備の区域であり、一部の耕作条件の良い農地で水稻栽培が行なわれているほか、地区外から露地野菜を栽培する経営体が存在する。水稻に関しては、高齢の一農家が中規模(8ha程度)の経営を行っているが、後継者もなく、次の担い手を懸念する声がある。多面的機能支払交付金を活用し、一定の農地の維持管理を行っている。浸水区域も多く、高収益作物の栽培などの効果を求められる基盤整備事業は難しいが、今後の農地利用や集積には、基盤整備事業の実施を模索していく必要がある。今後、農地の集積などを担う経営体は十分でない状況となっている。

(口鴨川)

全体的には、土地改良も済んでいるが、小さな農地も残っている。地区内には、果樹を作っているところもある。これらの農地を維持していくために、今後は集落営農組織を立ち上げるなどの検討をする必要がある。サルが出没し始めているため、対策が必要。

(奥鴨川)

地区内には、水田は少なく露地ショウガが多く栽培されている。地区出身者などが他の地区から通い耕作しているものの、規模的には零細なものとなっている。10年後も、地区内で農業に従事している人はいるものと思われるが、耕作条件の改善がされないと耕作放棄地が増える懸念がある。

(若藤)

農地の大部分は基盤整備済であり、耕作条件は良好となっている。中山間地域等直接支払交付金や多面的機能支払交付金も活用し、全体的に水田・水路管理も適切に行われている。耕作面では、以前は集落営農組織で水稻での機械の共同利用や作業受託を行い、またブロッコリーの栽培をしていたが、人件費の高騰などにより中断している。集落営農組織が、一定の農地利用や集積の役割を担っていたが、現在は、他地区からも担い手が来てショウガやイモ、ブシュカン等の栽培を行う状況となっている。将来は、再度、集落営農組織での農地利用や集積が望ましいが、経営が成り立つ農地やオペレーターの確保の面からは、集落単独での組織立ち上げでは、有効性が薄いことが予想される。

(利岡)

基盤整備事業により、大部分が優良農地となる。鳥獣被害が多くなった。基盤整備したが古い水路が残っている。草刈りや水路清掃、維持管理が大変。集落営農法人を設立し、基盤整備後の農地の大部分を集積・集約する計画がある地域で、今後の農地利用や集積については、一定の目処がたっている。集落営農法人において、地域の課題や方向性(ビジョン)も共有されており、今後は、この法人の経営を安定させるとともに、新規就農者などと呼び込み集落営農法人以外の担い手の育成も視野にいれていく必要がある。

(岩田)

農地の大部分は基盤整備済であり、利水や日照も良好で、耕作条件は良好となっている。現在のところ、農地利用や集積についての課題は見当たらず、10年程度は適切な農地利用と維持は可能。しかし10年先には、現在の農業者が高齢化するため、担い手の確保をどうするかという課題はある。鳥獣被害が多くなった。基盤整備したが古い水路が残っている。草刈りや水路清掃、維持管理が大変。地区外の周辺地域も含めての集落営農を視野に入れての農地の利用や集積・集約を考えていくことも必要である。

(敷地)

農地の大部分は基盤整備済であり、利水や日照も良好で、耕作条件は良好となっている。鳥獣被害が多くなった。基盤整備したが古い水路が残っている。草刈りや水路清掃、維持管理が大変。現在のところ、農地利用や集積についての課題は見当たらず、10年程度は適切な農地利用と維持は可能。現在は、一定規模の営農が行える経営体があるため、農地の利用・集積は一定の目処がたっているが、10年先には、現在の農業者が高齢化するため、担い手の確保をどうするかという課題はある。

(田野川甲)

農地の大部分は基盤整備済であり、未整備地の一部の農地を除いては、利水や日照も良好で、地区周辺に有害鳥獣の防護柵も設置し獣害も少ないことから耕作条件は良好となっている。中山間地域等直接支払交付金や多面的機能支払交付金も活用し、全体的に水田・水路管理も適切に行われている。現在のところ、農地利用や集積についての課題は見当たらず、10年程度は適切な農地利用と維持は可能。現在のところ、田野川甲については、ほとんどが70歳以下の農家であり、また、集落営農法人が地域の担い手としての役割を果たしており、条件の良い農地については、集落営農法人を中心に、大部分耕作が行われている。あと10年維持は可能と思われる。一部ではあるが、田野川甲では堰が傷んでおり、利水に支障があることも予想される。

(田野川乙)

農地の大部分は基盤整備済であり、未整備の一部農地を除いて、荒れた農地はない。以前はよく浸水被害があったが、最近はそのような状況は少ない。耕作の条件は整っている。ただ、取水の堰が老朽化しており、壊れたら利水に支障があることも予想される。現在は、高齢となっているものの、一定規模の営農が行える経営体があるため、農地の利用・集積は一定の目処がたっているが、将来には不安がある。集落営農組織の検討等、よりよい方法を模索する必要がある。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

- ・地区内で新規就農者の確保・育成とともに、新たな農地の受け手の確保が必要
- ・他地区の経営体を地域の担い手として位置付け、農地の利用・集積を図る
- ・農地利用などを推進するためには地区内に新規就農者などを呼び込む必要がある
- ・地域に合う新しい作物を検討する
- ・担い手や集落営農組織への農地の集積・集約化を進める

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針

営農継続が困難な農地等が生じた場合は、集約化を図るため地元協議を踏まえた上、地区内に限らず、地区外の担い手等の中心経営体にも適切な集積を進めていく。

(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標

現状の集積率	22.7	%	将来の目標とする集積率	26.3	%
--------	------	---	-------------	------	---

(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標

効率的かつ安定的な農業経営を営む農用地が分散状態になっている現状を踏まえ、現場のニーズに応じた農地の貸借を進めていく。

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組

(板ノ川)

地区内に担い手農家はおり、また、後継者がいる農家もいるため、今後10年程度は適正な維持管理は可能である。

(佐田)

地域内には、一定規模で水稻栽培をしている経営体は存在するものの、今後の農地集積を担える経営体がおらず、農業リタイヤ者の農地の集積を担えることにはなっていない。条件の良い農地については多面的機能支払交付金で維持管理等は行っているが、取り組み面積の減少も懸念される。今後、小規模農家が営農を終了すれば耕作放棄となる可能性が高く、集落営農による農地集積も一定視野に入れる必要があり、単独または広域的に行う最適な方法で対応する。浸水地域が多く、ハードルはあるものの、基盤整備事業を視野に入れ、効率的な営農ができる環境整備を図っていく。

(口鴨川)

地区内に担い手農家はおり、今後10年間くらいは適正な維持管理は可能かもしれないが、現在大規模に耕作している農家がリタイヤした時には、そこをカバーできない可能性がある。将来は、集落営農組織での農地利用や集積が必要となってくるが、経営が成り立つ農地やオペレーターの確保の面からは、集落単独での組織立ち上げでは、有効性が薄いことから、近隣集落との広域的な組織とし、支え合う仕組みを構築する。

(奥鴨川)

地元で担い手や後継者はいない。他地区などから出身者が通い耕作しているような状況である。今後は基盤整備を行うなど、耕作条件の改善を図っていく。

(若藤)

現在活動が停滞しているが、再度、集落営農組織での農地利用や集積が望ましい。しかし、高齢農家が多く、また経営が成り立つ農地やオペレーターの確保の面からは、集落単独での組織立ち上げでは、有効性が薄いことから、近隣集落との広域的な組織とし、支え合う仕組みを構築する。

(利岡)

現段階では、地区内に集落営農法人があることで、リタイヤ者の農地をカバーできる状況にあり、10年程度は、農地の利用・集積に問題はない。集落営農法人の経営を一層安定させることで、地域の農地の利用・集積や維持されるものであり、今後は、集落営農法人において水稻に加え、高収益作物の栽培を行い、地域内の雇用促進などを行う。

(岩田)

現段階では、地区内には大規模の経営体があることで、リタイヤ者の農地をカバーできる状況にあり、10年程度は、農地の利用・集積に問題はない。また、基盤整備済で耕作条件の良い農地が大部分であることから、地区内でカバーできない場合には、地区外の担い手も期待できる。また、北部の施設園芸ができる農地には、新規就農者を呼び込み、施設団地として農地利用や集積をすることも期待できる。将来は、集落営農組織の立ち上げを視野に、地域意向のくみ上げを図る。

(敷地)

現段階では、地区内には大規模の経営体があることで、リタイヤ者の農地をカバーできる状況にあり、10年程度は、農地の利用・集積に問題はない。また、基盤整備済で耕作条件の良い農地が大部分であることから、地区内でカバーできない場合には、地区外の担い手も期待できる。将来は、集落営農組織の立ち上げを視野に、地域意向のくみ上げを図る。

(田野川甲)

現段階では、地区内に集落営農法人があることで、リタイヤ者の農地をカバーできる状況にあり、10年程度は、農地の利用・集積に問題はない。集落営農法人の経営を一層安定させることで、地域の農地の利用・集積は維持されるものであり、今後は、集落営農法人において施設園芸を行い、地域内の雇用促進などを図っていく。

(田野川乙)

現段階では、地区内には大規模の経営体があることで、リタイヤ者の農地をカバーできる状況にあり、10年程度は、農地の利用・集積に問題はない。また、基盤整備済で耕作条件の良い農地が大部分であることから、地区内でカバーできない場合には、隣接地区の集落営農法人からの支援も期待できる。今後は、集落営農組織の立ち上げも必要であるが、高齢の経営体が多いことから、単独或いは広域連携での組織を立ち上げるなどの対応をしていく。

(2) 農地中間管理機構の活用方法

中心経営体が病気や怪我等の事情で営農の継続が困難になった場合には、農地バンクの機能を活用し、農地の一時保全管理や新たな受け手への付け替えを進めることができるよう、機構を通じて中心経営体への貸付けを進めていく。

(3) 基盤整備事業への取組

利岡地区において基盤整備事業を実施することで農作業の効率化を推進する。また、その他の地区においても農業の生産効率の向上や農地集積・集約化を図るため、将来的には、農地の大区画化・汎用化等の基盤整備に取り組む。

(4) 多様な経営体の確保・育成の取組

今後も安定的に耕作維持を図るために、中心経営体の担い手や集落営農組織、地区内で確保できない場合には地区外からの雇用等を含め、地区全体で農業振興を図ることが必須となる。

(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

今後、高齢化や後継者不足のため耕作困難となることが考えられる地区については、地区内外の中心経営体である認定農業者や担い手・集落営農組織等への農作業委託を積極的に進めていき、安定的な耕作維持につなげていく。

合同会社スマートアグリ中村(中村地域営農協議会)でドローン等を導入し、集落営農組織等で活用する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☒ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☒ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

①地域による鳥獣害対策の集落点検マップ(侵入防止柵や檻の設置状況、放置果樹や目撃・被害発生場所等)づくりや捕獲体制の構築等に取り組む。

③ドローン・草刈り機・IT等を導入し、省力化を図る。

⑦土地条件の良好でない農地については、保全管理を行う。

⑧良好な農地で集積を進めるため、補助事業等を活用し、水路等の整備を行っていく。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和16年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
						ha	ha		
						ha	ha		
						ha	ha		
						ha	ha		
						ha	ha		
						ha	ha		
						ha	ha		
						ha	ha		
						ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	82経営体		154.5 ha	0 ha		169 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1		育苗～収穫まで	水稻
2		育苗～収穫まで	水稻
3		育苗～収穫まで	水稻
4		ドローン防除	水稻

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

	属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
			経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	認農		施設野菜(ミ ウカ) 施設(レモ ン)	0.49 ha	ha	施設野菜(ミ ウカ) 施設(レモ ン)	0.49 ha	ha	1	
2	認農		施設ニラ	0.3 ha	ha	施設ニラ	0.3 ha	ha	2	
3	認農		施設レモン	0.3 ha	ha	施設レモン	0.3 ha	ha	3	
4	利用者		水稻	1.5 ha	ha	水稻	2 ha	ha	4	
5	利用者		ブシュカン	2.5 ha	ha	ブシュカン	2.5 ha	ha	5	
6	認農		施設イチゴ	0.2 ha	ha	施設イチゴ	0.2 ha	ha	6	
7	利用者		水稻	3.4 ha	ha	水稻	3.4 ha	ha	7	
8	利用者		水稻	6.3 ha	ha	水稻	6.3 ha	ha	8	
9	認農		水稻	5 ha	ha	水稻	10 ha	ha	9	
10	集・法 認農		水稻	22.12 ha	ha	水稻	22.12 ha	ha	10	
11	認農		ピーマン	0.25 ha	ha	ピーマン	0.25 ha	ha	11	
12	利用者		水稻	3.2 ha	ha	水稻	3.2 ha	ha	12	
13	利用者		水稻	3.97 ha	ha	水稻	4.06 ha	ha	13	
14	認農		水稻	26.9 ha	ha	水稻	26.9 ha	ha	14	
15	利用者		水稻	2.5 ha	ha	水稻	2.5 ha	ha	15	
16	利用者		水稻	1.4 ha	ha	水稻	1.4 ha	ha	16	
17	利用者		水稻	2.8 ha	ha	水稻	2.8 ha	ha	17	
18	利用者		水稻	0.9 ha	ha	水稻	0.9 ha	ha	18	
19	利用者		水稻	1.08 ha	ha	水稻	1.08 ha	ha	19	
20	利用者		カボチャ キュウリ 葉物野菜	0.3 ha	ha	カボチャ キュウリ 葉物野菜	0.3 ha	ha	20	
21	利用者		水稻 シシトウ ブシュカン	1.01 ha	ha	水稻 シシトウ ブシュカン	1.31 ha	ha	21	
22	利用者		ナス	0.18 ha	ha	ナス	0.18 ha	ha	22	
23	利用者		水稻	1.54 ha	ha	水稻	1.54 ha	ha	23	
24	認就		露地ショウガ サツマイモ	1.05 ha	ha	露地ショウガ サツマイモ	1.05 ha	ha	24	
25	利用者		露地ショウガ 水稻	0.5 ha	ha	露地ショウガ 水稻	0.5 ha	ha	25	
26	利用者		水稻	0.2 ha	ha	水稻	0.2 ha	ha	26	

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

	属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
			経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
27	認農	認農・集・ 農法 集	露地野菜	0.6 ha	ha	露地野菜	0.8 ha	ha	27	
28	利用者		水稲	1.8 ha	ha	水稲	2 ha	ha	28	
29	利用者		水稲 露地ショウガ	1.05 ha	ha	水稲 露地ショウガ	1.05 ha	ha	29	
30	認農・集・ 農法		水稲	17.1 ha	ha	水稲 露地野菜	25.3 ha	ha	30	
31	集		水稲	0.9 ha	ha	水稲	0.9 ha	ha	31	
32	利用者		水稲	2.8 ha	ha	水稲	2.8 ha	ha	32	
33	利用者		水稲	0.76 ha	ha	水稲	0.76 ha	ha	33	
34	利用者		水稲	3.8 ha	ha	水稲	3.8 ha	ha	34	
35	利用者		水稲	1.3 ha	ha	水稲	1.3 ha	ha	35	
36	利用者		オクラ	0.08 ha	ha	オクラ	0.08 ha	ha	36	
37	利用者		オクラ	0.07 ha	ha	オクラ	0.07 ha	ha	37	
38	利用者		水稲	2.28 ha	ha	水稲	2.28 ha	ha	38	
39	利用者		水稲	1.26 ha	ha	水稲	1.26 ha	ha	39	
40	利用者		水稲	0.49 ha	ha	水稲	0.49 ha	ha	40	
41	利用者		水稲	1.1 ha	ha	水稲	1.1 ha	ha	41	
42	利用者		オクラ	0.3 ha	ha	オクラ	0.3 ha	ha	42	
43	利用者		露地野菜	0.05 ha	ha	露地野菜	0.05 ha	ha	43	
44	利用者		水稲	0.1 ha	ha	水稲	0.1 ha	ha	44	
45	利用者		水稲	0.2 ha	ha	水稲	0.2 ha	ha	45	
46	利用者		水稲	1.9 ha	ha	水稲	1.9 ha	ha	46	
47	利用者		水稲	0.3 ha	ha	水稲	0.3 ha	ha	47	
48	利用者		水稲	1.4 ha	ha	水稲	1.4 ha	ha	48	
49	利用者		水稲	0.3 ha	ha	水稲	0.3 ha	ha	49	
50	利用者		水稲	0.8 ha	ha	水稲	0.8 ha	ha	50	
51	利用者		水稲	0.5 ha	ha	水稲	0.5 ha	ha	51	
52	認農		水稲	7 ha	ha	水稲	7 ha	ha	52	
53	利用者		水稲	0.2 ha	ha	水稲	0.2 ha	ha	53	
54	利用者		野菜	0.05 ha	ha	野菜	0.05 ha	ha	54	

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

	属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
			経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
55	利用者		野菜	0.02 ha	ha	野菜	0.02 ha	ha	55	
56	利用者		水稲	0.1 ha	ha	水稲	0.1 ha	ha	56	
57	利用者		水稲	1.3 ha	ha	水稲	1.3 ha	ha	57	
58	利用者		水稲	0.6 ha	ha	水稲	0.6 ha	ha	58	
59	利用者		水稲	0.4 ha	ha	水稲	0.4 ha	ha	59	
60	利用者		水稲	0.2 ha	ha	水稲	0.2 ha	ha	60	
61	利用者		水稲	0.9 ha	ha	水稲	0.9 ha	ha	61	
62	利用者		水稲	0.7 ha	ha	水稲	0.7 ha	ha	62	
63	利用者		水稲	1.1 ha	ha	水稲	1.1 ha	ha	63	
64	利用者		水稲	1.1 ha	ha	水稲	1.1 ha	ha	64	
65	利用者		水稲	0.3 ha	ha	水稲	0.3 ha	ha	65	
66	利用者		水稲	0.6 ha	ha	水稲	0.6 ha	ha	66	
67	利用者		水稲	2.2 ha	ha	水稲	2.2 ha	ha	67	
68	利用者		水稲	0.6 ha	ha	水稲	0.6 ha	ha	68	
69	利用者		水稲	0.3 ha	ha	水稲	0.3 ha	ha	69	
70	利用者		水稲	0.3 ha	ha	水稲	0.3 ha	ha	70	
71	利用者		水稲	0.7 ha	ha	水稲	0.7 ha	ha	71	
72	利用者		水稲	0.3 ha	ha	水稲	0.3 ha	ha	72	
73	利用者		水稲	0.5 ha	ha	水稲	0.5 ha	ha	73	
74	利用者		水稲	0.4 ha	ha	水稲	0.4 ha	ha	74	
75	認農		施設レモン	0.4 ha	ha	施設レモン	0.4 ha	ha	75	
76	利用者		水稲	0.8 ha	ha	水稲	0.8 ha	ha	76	
77	利用者		果樹	0.1 ha	ha	果樹	0.1 ha	ha	77	
78	利用者		露地野菜 水稲	0.9 ha	ha	露地野菜 水稲	0.9 ha	ha	78	
79	利用者		ユズ	0.8 ha	ha	ユズ	0.8 ha	ha	79	
80	利用者		水稲	0.2 ha	ha	水稲	0.2 ha	ha	80	
81	利用者		露地野菜 果樹	0.2 ha	ha	露地野菜 果樹	0.2 ha	ha	81	
82	利用者		クリ	0.1 ha	ha	クリ	0.1 ha	ha	82	